

年頭にあたって

青少年健全育成町民会議

代表 笠井 正憲

新年明けましておめでとーござい
ます。日ごろより、町民の皆さまに
は本会活動に対し、深いご理解とご
協力を賜り、心より感謝申し上げま
す。

コロナ、コロナで明け暮れた令和
3年でした。閉塞感を感じる事が多
かったように思います。その中でも
新しいことに挑戦したり、楽しいこ
とを見つけたり、運動や部活に力を
注ぎ、目標を持って充実した生活を
送ろうとしている青少年にエールを
送りたいと思います。また、青年
を支えてくださっているご家族や周
囲の人々に心より敬意を表します。
今回の新型コロナウイルス感染症
の蔓延がもたらした一番の悪影響は
私たちの生活を分断し、人間関係の
希薄化に拍車をかけたことです。そ
のことが人々の孤立感を一層深めま
した。

人類は今まで助け合い、寄り添い
合い、互いに気遣い合いながら生き
てきました。本来そうだった生活で
あったところへ、約2年間に及ぶ外
出自粛に会合やイベントの中止、テ
レワークやオンライン授業など人流

を制限し、マスクをして密を避ける
生活が日常化してしまいました。

孤立は深刻な病理です。このこと
る理解できない事件が相次いでいま
す。実社会でもSNSの世界でも孤
立感が募って「この世に誰も自分の
理解者がいない」と思ってしまうこ
とが、自死や犯罪動機となることも
あるそうです。

今年のみんなであいさつし合い、
語り合い、寄り合いやイベントに積
極的に参加しましょう。自分の健康
を気遣いながら他人のためになる地
域活動やボランティア活動に取り組
みましょう。

そして、人との絆をより強く強固
なものにしましょう。新型コロナに
対しては無駄に恐れず、的確な対策
を取りつつ免疫力を高めるような食
事を取り、この難関をみんなで乗り
越えましょう。人類の歴史はウイル
スと共存の歴史だったので、負ける
ことはありません。

令和4年が、皆さまにとって幸せ
な一年でありますようにお祈りいた
します。

青少年健全育成町民会議

理事研修会開催

11月9日、第2回理事会終了後に
研修会を開催しました。

初めに、今年度「少年の主張空知

大会」において優秀賞となった新
十津川中学校3年清水花菜さんの
「2030年に向けて」の作文発表
の様子を上映しました。2030年
までに達成すべき人類の目標に対し
て、新十津川町の取り組みを紹介す
るとともに自らの生活を振り返り、
社会全体で地道な努力を積み重ねて
いく必要があるとの内容でした。中
学生らしい真つすくな主張と立派な
態度でまさに優秀賞にふさわしい作
文発表でした。

続いて、滝川警察署生活安全課の
富岡良輔係長から「青少年のスマホ
利用と家庭（大人）の役割」につい
て。パワーポイントを用い、具体例を
示しながら講話をいただきました。
以降、親が知っておきたい4つの大
切なポイントについてご紹介します。

○長時間利用の中身に着目すること
スクリーンタイムなどで何にどれ
くらいの時間を使っているのか、親
子で確認してみましょう。
○オンラインゲームで起きるトラブ
ルについて知っておくこと
高額課金やD乗っ取りだけでなく、
誘う、誘われない、アイテムのや
り取りでもめ、一人抜けできないた
め長時間プレイになることが生じて
います。

○SNSで誹謗中傷、いじめについ
て知っておくこと
普段から望ましい言葉遣いに留意

させるとともに、相談しやすい親子
関係をつくり、話はじっくり聞いて
あげましょう。

○写真、動画の安易な投稿が危険を
招くこと

投稿には十分注意する。特に肌を
露出した写真は撮っちゃダメ、男子
も女子もダメ、送ったらダメ、持っ
ているだけでもダメ。

スマホを生活から締め出すことは
不可能です。一方、人間関係トラブ
ルのほとんどがスマホがらみです。
大人は子どもと一緒に、スマホ活用
について考えてみる必要があるで
しょう。その上で上手に活用してい
くことが大切です。

その第一歩として子どもにしてほ
しいことを親が行い、子どもの良い
お手本となる事が大切です。スマホ
さんまい、ながらスマホ、食事中や会
話中にス
マホ画面
を見るな
ど子ども
にまねさ
れたら困
る行動を
親自身が
行わない
ようにす
る必要が
あります。

